

【ご参考資料】

2014年6月12日

6月12日発表のニュージーランドの政策金利の引き上げについて

政策金利を3.00%から3.25%に引き上げ

6月12日、ニュージーランド準備銀行(中央銀行)は、政策金利であるオフィシャル・キャッシュ・レートを0.25%引き上げ、3.25%にすることを決定しました。

景気拡大による需給ギャップの縮小を背景に、インフレ圧力が高まっている中、市場の予想通り3会合連続の利上げとなりました。

利上げ継続を示唆

同中銀は、金融政策決定会合後の声明で、高い輸出品価格や建設の加速が経済成長を支えていることや、景気拡大により需給ギャップが縮小し、インフレ圧力が高まっていることを繰り返しました。

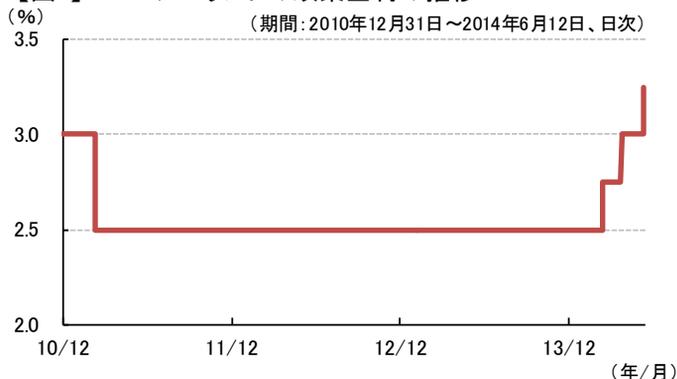
同日に発表された四半期の金融政策報告書では、今後のインフレ見通しが概ね下方修正されました。一方で、同中銀は、インフレ圧力は上昇していくとし、インフレ期待が抑えられることと、金利がより中立な水準へと戻ることが重要であるとの認識を示しました。今後の利上げのペースと幅については、今後発表される経済・金融指標とインフレ圧力への影響をふまえて決定するとしていました。市場では、こうした同中銀の姿勢は、利上げ継続を示唆するものと捉える見方もあります。

今回の利上げは市場予想通りだったものの、利上げが今後も継続するとの観測などを背景に、6月12日午前10時頃の東京外国為替市場では、対米ドル、対円とも前日比1.0%程度のニュージーランドドル高となっています。

次回の金融政策決定会合は2014年7月24日の予定です。

以上

【図1】ニュージーランドの政策金利の推移



【図2】ニュージーランドの消費者物価指数(前年同期比)の推移



【図3】ニュージーランドドルの対円・対米ドルレートの推移



(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成